

みずほCustomer Desk Report 2019/05/29 号(As of 2019/05/28)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.60
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	109.52	1.1193	122.58	1.2683	0.6920
SYD-NY High	109.63	1.1198	122.70	1.2701	0.6935
SYD-NY Low	109.21	1.1159	121.99	1.2651	0.6917
NY 5:00 PM	109.37	1.1161	122.04	1.2652	0.6922
NY DOW	25,347.77	▲ 237.92	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,607.35	▲ 29.66	日本10年債	-0.0700	0.00bp
S&P	2,802.39	▲ 23.67	米国2年債	2.1265	▲ 4.08bp
日経平均	21,260.14	77.56	米国5年債	2.0695	▲ 5.19bp
TOPIX	1,550.99	3.99	米国10年債	2.2667	▲ 5.62bp
シカゴ日経先物	21,020	▲ 110	独10年債	-0.1610	▲ 1.60bp
ロンドンFT	7,268.95	▲ 8.78	英10年債	0.9160	▲ 3.85bp
DAX	12,027.05	▲ 44.13	豪10年債	1.5365	▲ 1.05bp
ハンセン指数	27,390.81	102.72	USDJPY 1M Vol	6.20	▲ 0.08%
上海総合	2,909.91	17.53	USDJPY 3M Vol	6.46	▲ 0.04%
NY金	1,277.10	▲ 6.50	USDJPY 6M Vol	6.69	▲ 0.06%
WTI	59.14	0.51	USDJPY 1M 25RR	-1.50	Yen Call Over
CRB指数	180.26	1.63	EURJPY 3M Vol	6.90	▲ 0.02%
ドルインデックス	97.95	0.34	EURJPY 6M Vol	7.24	▲ 0.11%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月28日	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	5月 134.1	130.0

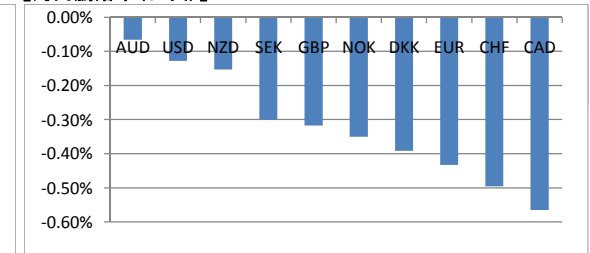
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月29日	15:45	仏 CPI(前月比/前年比)・速報	5月 0.3%/1.1%	0.3%/1.3%
	15:45	仏 GDP(前期比/前年比)・確報	1Q 0.3%/1.1%	0.3%/1.1%
	17:00	伊 消費者信頼感指数	5月 110.0	110.5
	23:00	加 カナ銀行翌日物貸出金利	- 1.75%	1.75%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.50—110.00	1.1100—1.1200	121.00—122.80

【マーケットインプレッション】

28日の相場はリスクオフの展開となった。東京時間に麻生財務相の発言もあって一時109.63円まで上昇したドル円は、その後米国株式の下落が嫌気され反落。ユーロはイタリアの財政懸念から同国国債利回りが上昇・欧州株の弱含みが警戒され、売りが先行した。本日も引き続きリスクオフの相場を予想。トランプ米大統領の「中国との貿易協定合意の準備はない」との発言から米中通商問題の先行不透明感が強まっており、ドル円は下値を模索する展開となろう。ユーロについても同様で、欧州議会選挙においてEU懐疑派が一定の議席を確保していることから、欧州政治への警戒感が高まっており、下落圧力は継続するものと見る。

東京	東京時間のドル円は109.52レベルでスタート。日経平均株価が堅調に推移する中、麻生財務相による「2年前からトランプ大統領から為替の話が出たことはない」との発言も後押しとなり、ドル円は一時109.63をつけた。しかし押し戻されるとその後は方向感無く推移し、109.47レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.47レベルでオープン。欧州株が値を下げる中でややリスクオフの立ち上がり。109.21円まで売られる場面もあったが欧州株が下げ幅を縮めると買い戻され109.44レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1185レベルでオープン。EUがイタリアに制裁金を課す可能性が取沙汰される中で欧州株が弱く始まり1.1176まで下げるが、EU側が制裁金は選好しない、との記事で1.1198まで買い戻され、結局1.1194レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2686レベルでオープン。欧州議会選挙ではEU懐疑政党が票を伸ばし英休日中もポンドは重い値動き。朝方こそ買戻しから1.2701まで上昇する場面もあったが程なく1.2656まで下落。メイ首相の後継レースのヘッドラインにも特に反応はせず1.2670レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	リスクオフの流れの中、連休明けのNYのドル円は109.44レベルでNYオープン。朝方はややドル売りが先行するものの、米5月消費者信頼感指数が現状、期待指数ともに上昇したことから、大幅に予想を上回り、ドル円は109.61まで上昇する。その後はドル買いが強まる一方、米金利が低下したこと、ドル円は上値を重くし109.43まで反落する。午後は、109.57まで戻す局面もあったものの、米中貿易摩擦懸念から株式市場が軟化する展開に円買いが優勢となり、109.33まで反落し、109.37レベルでクロスした。一方、海外時間に1.1215まで戻したユーロドルは、EUが財政規律違反でイタリアに対して巨額の制裁金を課すとの報道が伝わり、上値を重くし1.1194レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、消費者信頼感指数結果を受けたドル買いに、1.1168まで下落する。午後は、更にドル買いが強まり、リスク回避の動きからユーロドルが122円割れを目前にする中、ユーロドルも上値を切り下げ1.1159まで下落し、1.1161レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・綱島